

2カメラ ドライブレコーダー DVR-DD-2

取扱説明書

Ver1.02

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

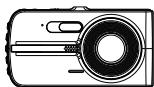
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。



- ・ エンジンをかけていないのに内蔵バッテリーで電源が入ることがあります。故障ではありません。エンジンをかけていないのに電源が入った場合、すぐに電源は切れます。電源が切れている状態でエンジンをかけて録画を開始してください。
※エンジンをかけていないのに本体の電源が入って10秒以上電源が切れない場合は、配線を間違えている恐れがあります。
- ・ 本体の起動中またはシャットダウン中に電源の抜き差しやエンジンの ON/OFF を短時間で繰り返さないでください。本体がフリーズすることがあります。車両の ACC 状態からエンジンをかける場合は、一度 OFF にしてからエンジンを掛けてください。ACC の状態からエンジンを掛けると本体がフリーズすることがあります。
※本体がフリーズした場合はリセットボタンを押してください。

セット内容

- 本体カメラ



- 取付ブラケット



- 電源（配線）ケーブル



- microSD カード
(16GB)
& カードアダプター



- リアカメラ + 接続ケーブル

※リアカメラ接続側には、ケーブルに「Rear」表示があります。
逆に接続するとリアカメラ映像が録画されません。



- 取扱説明書

本書

- 保証書



目次

お使いになる前に	3
安全上のご注意	4
内蔵電池の取り扱いについて	6
駐車録画（駐車モード）に関する注意事項	6
microSD カードご使用に関する注意事項	7
各部の名称とはたらき	8
取り付け上の注意事項	9
ドライブレコーダーを取り付ける	10
ドライブレコーダーを使う	12
液晶画面の表示について [録画モード]	13
液晶画面の表示について [静止画モード]	14
液晶画面の表示について [再生モード]	15
メニュー設定の操作方法	16
メニュー設定一覧	17
フォーマット / 初期化	18
録画の種類	19
microSD カード内ファイル構成	20
録画時間の目安	21
製品仕様	22

お使いになる前に

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を検知して、その衝撃の前後の映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、本書を最後までよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。また、取扱説明書の内容は予告なく変更することがございます。最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードしてご利用ください。本製品のアップデートに関する情報も弊社ホームページをご覧ください。

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を検知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源ケーブルが外れて電源供給が止まった場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。弊社では映像が記録されなかった時の責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きた時の検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で撮影すると点滅したり、消灯したりしているように撮影されることがあります。信号機が映らないことに際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品で記録した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。撮影した映像に関するトラブル等に際しまして弊社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。
- 本機は GPS を付属していないため、ご使用前に必ず日時設定を行ってください。長期間使用しない場合は、日時がずれることがあります。1ヶ月に1回程度、日時設定を行ってください。
- 駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、弊社や販売店は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源ケーブルを抜いてください。



電源ケーブルを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源ケーブルを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。ケーブルが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかる恐れがある場所に設置しないでください。本製品は防水仕様ではありません。水がかかると故障や火災・感電の原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。



エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。また、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がケガをしたり、物的損害が発生したりする可能性があります。



本製品に強い衝撃を与えたり、高い所から落としたりしないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本製品をお手入れする場合は、電源ケーブルを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本製品を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品を使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れたりすることがあり危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



本製品は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がオン状態または、録画中にmicroSDカードを取り出すと記録データとmicroSDカードが破損する可能性があるので注意をしてください。



本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

●内蔵電池の取り扱いについて



本製品は充電電池を内蔵しています。充電電池は、有機溶媒などの可燃物を使用していますので、取り扱いを誤りますと破裂、発火、発煙の恐れ、性能低下、故障の原因となります。次の禁止事項を必ずお守りください。



本製品は充電電池を内蔵しています。お客様ご自身では交換できません。お客様による交換は危険ですから絶対におやめください。



火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が動き、充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、充電電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。



強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。充電電池に組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、充電電池内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。



充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。充電電池を漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になる恐れがあります。

●本商品をご使用されなくなった場合の処分方法について



本商品に内蔵されている充電電池の取り外しはお客様自身では行わないでください。

●駐車録画（駐車モード）に関する注意事項

駐車モード設定中はエンジンを切っても本体の電源は切れません。（2時間）
※液晶を消したい場合は画面消灯設定を行ってください。（16-17ページ参照）

駐車録画（駐車モード）は車両の常時電源を使用する為、車両バッテリーへの負荷が掛かります。以下に示す3項目に該当するお客様は、車両バッテリー上がりの原因となりますので、駐車録画（駐車モード）の使用を控えて頂く事をお勧めします。

● 毎日運転しない方

● 1日の走行が1時間以下の方

● 車両バッテリーを1年以上使用している方

上記は参考基準であり、お客様のお車及びバッテリー容量等によってはこの限りではございません。お車によってエンジンスタートに必要な電圧が異なりますので、メーカー等にご確認頂きご理解の上、駐車録画（駐車モード）の機能をご使用ください。

※注意

定期的に車両バッテリーの点検を行ってください。駐車録画（駐車モード）による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。

microSD カードご使用に関する注意事項

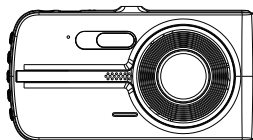
もしも事故が起きたら・・・

- 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずエンジン（電源）をオフにして microSD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

microSD カードご使用に関する注意事項

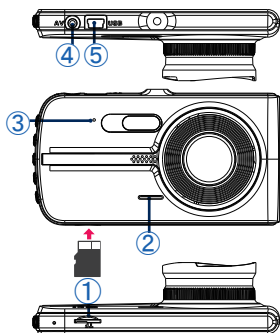
- 推奨された付属の microSD カードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合があります。その場合には動作の保証はいたしかねます。
- microSD カードの出し入れは、かならずエンジンを停止し本体の電源が切れていることを確認してから行ってください。microSD カードに記録された映像が消失する場合や、破損する場合があります。
- なお、データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体へバックアップすることをお勧めします。

- microSD カードは指定した方向へ正しく挿入してください。



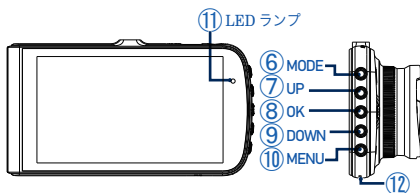
- 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットしてください。（18 ページ参照）
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カード（推奨品）への交換をお勧めします。長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。
- microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。
- フォーマットは必ず本機で行ってください。

各部の名称とはたらき



本体カメラ

各ボタンを強く押さないでください。
ボタン破損の恐れがあります。



- ① microSD カードスロット：microSD カード挿入口
- ② スピーカー：音声出力（操作音はオン/オフ可能）
- ③ リセットボタン：システムを再起動
- ④ リアカメラ接続端子：リアカメラ接続ケーブル用
- ⑤ 電源ケーブル入力端子：電源ケーブルを接続

- ※ ⑥ MODE ボタン ●録画モード中：手動録画（録画ファイルを保護）
モード切替 [録画モード→静止画モード→再生モード]
※モードを切り替えるときは OK ボタンで録画を停止する
- ※ ⑦ UP ボタン ●録画モード中：画面表示切り替え
●静止画モード中：画面表示切り替え
●再生モード中：長押しでリアカメラ⇄本体カメラ切替
前のファイル表示、[再生中] 早戻し
●メニュー画面中：項目またはファイル上方向へ移動
- ※ ⑧ OK ボタン 長押しで電源オン/オフ
●録画モード中：録画停止 / 録画再開
●静止画モード中：撮影
●再生モード中：再生 / 一時停止
●メニュー画面中：項目の決定
- ※ ⑨ DOWN ボタン ●録画モード中：音声録音オン/オフ
長押しで駐車録画オン/オフ
●再生モード中：次のファイル表示、[再生中] 早送り
●メニュー画面中：項目またはファイル下方向へ移動
- ※ ⑩ MENU ボタン メニュー表示 [各モードメニュー→共通メニュー]
※メニューを表示するときは OK ボタンで録画を停止する
- ⑪ LED ランプ 録画状態・充電状態を表示
- ⑫マイク 音声録音用（オン/オフ可能）

※ ⑥⑦⑧⑨⑩の押しボタンスイッチは軽く押す（約 200 g 程度）だけで反応します。
強く押した場合（約 3kg 以上）、めり込みや破損する場合があります。

取り付け上の注意事項

本機は製品特性上、カメラがしっかりと正しい位置に固定されていることが非常に重要です。取り付け作業にあたっては本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高い時はテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなる場合があります。できるだけ好天候の日に取り付けしてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いので、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- 取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本機の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。

取り付け位置

- 取り付け位置は車両フロントガラス上部20%以内の位置で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本機に当たらない位置に取り付けてください。
- 付属の microSD カードが容易に抜き差しできる位置に取り付けてください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- フロントガラスの着色部分（セラミックラインなど）が映らないように、取り付けてください。また、雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置に取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ラジオやテレビアンテナの近くで使用すると、ラジオ雑音やテレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けた位置に取り付けてください。
- スマートキー電波受信機などの近くに設置すると電波干渉が起きてキーが効かなくなる場合があります。なるべく各受信機の近くに設置しないでください。
- 自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取り付け、配線してください。
- 国土交通省の定める保安基準※に適合させるため必ず取付許容範囲内に取り付けてください。
※道路運送車両の保安基準 第29条（窓ガラス）、細目告示第39条、第117条および第195条最新の保安基準は、国土交通省の Web サイトをご確認ください。

ドライブレコーダーを取り付ける

[設置・電源ケーブル配線時のご注意]

車両に TV フィルムアンテナがある場合、本体または各ケーブルを離して設置してください。

本体カメラ設置

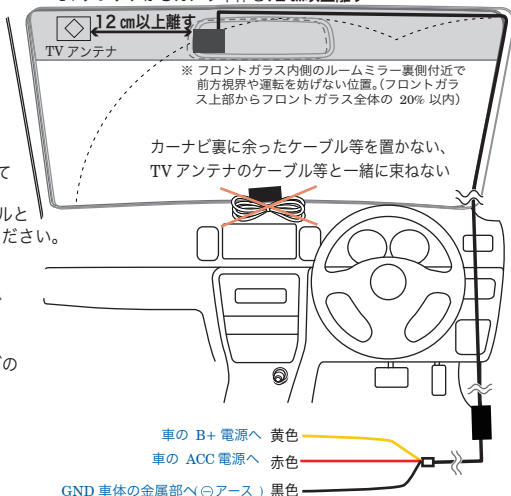
TV フィルムアンテナから本体を12 cm以上離して設置してください。

電源ケーブルは TV フィルムアンテナから 10 cm以上離して配線してください。
TV フィルムアンテナケーブルと逆方向に引き回し配線してください。

また、TV フィルムアンテナケーブルと一緒に束ねないでください。

電源の配線は内部でカーナビの近くに余ったケーブル類を束ねないでください。

TV アンテナからカメラ本体を12 cm以上離す



カーナビ裏に余ったケーブル等を置かない、TV アンテナのケーブル等と一緒に束ねない

リアカメラ設置

リアガラスの内側中央の最上部付近にレンズを車外（後方）に向けて設置してください。

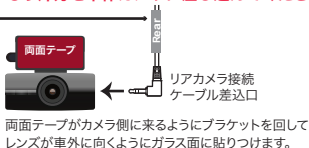
TV アンテナが後方にある場合リアカメラ接続ケーブルを 10 cm以上離す



※脱脂クリーナーなどでリアガラスを清掃し、よく乾かした後に貼付けてください。

リアカメラを本体カメラと接続してください。

[Rear] と表示されているほうのプラグをリアカメラ側へ差し込んでください。
もう片方を本体カメラに差し込んでください。※逆に接続するとリア映像が録画されません。



ブラケットの角度調整ネジを緩めた状態で仮固定し、取付角度を調整し調整後にネジを締めてください。



リアカメラの上下の角度は本体ドライブレコーダーの液晶画面で後方車のナンバーが確認できるように調整してください。

リアカメラが映らない時は
リアカメラ接続ケーブルをしっかりと本体へ差し込んだ後、再起動してください。

注意：リアカメラを取付けする際はリアカメラ接続ケーブルを強く引っ張らないでください。
強く引っ張った場合（約5kg以上）、断線や破損する場合があります。

ドライブレコーダーを取り付ける (つづき)

【仮留め・テスト録画】

しっかり貼り付ける前に、いったん仮留めをしてテスト撮影し、液晶画面で確認してください。映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしていないか確認してください。問題無いようであれば本取り付けを行います。



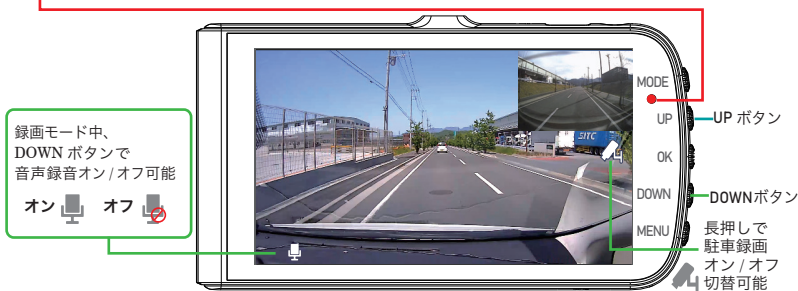
【取り付け方法】ブラケットをフロントガラスに両面テープで取り付けます。



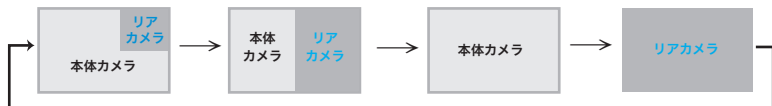
【録画 LED ランプ表示】 【画面表示切替】 【録音オン/オフ】 【駐車録画オン/オフ】

【LED ランプ】 赤ランプ点灯：充電中

青ランプ点滅：録画中、青ランプ点灯：起動時、消灯：録画停止、電源オフ



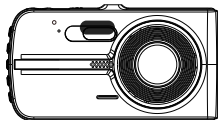
録画モード中に、UP ボタンを押すと下記のように画面表示が切り替わります。



ドライブレコーダーを使う

microSD カードを差し込んでエンジンをかければ、本機の電源がオンになります。電源が入ると自動的に録画がスタートします。

1) 電源を入れる前に microSD カードスロットに microSD カードを挿入する



❶ microSD カードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。また、初めてを使用する際に本体で microSD カードをフォーマットしてください。

エンジンをかけた状態で OK ボタンを 2 秒以上長押しすると電源が切れます。

※この状態で microSD カードを抜き差ししてください。

再び、OK ボタンを長押しすると電源が入ります。電源をオフにすると録画できません。

- ・弊社が推奨する microSD カードを使用してください。
- ・microSD カードをフォーマットする場合、必ずドライブレコーダー本体でフォーマットしてください。



2) 車のエンジンをかける (ドライブレコーダーの電源がオンになります)

3) 常時録画を開始

①常時録画



microSD カード内の VIDEOA フォルダに本体カメラデータ、VIDEOB フォルダにリアカメラデータが保存されます。

車両のエンジンをかける (本体に電源が入る) と撮影を開始します。

録画中は、液晶画面上に ● が点滅します。

また、録画中に OK ボタンで常時録画を停止したとき、モーション検知がオンになっているとモーションを検知したときだけの録画に切り替わります。(使用例: 停車中など)

ファイル名は VID_YYYYMMDD_hhmmss.MOV で保存されます。

それぞれ本体カメラは VIDEOA、リアカメラは VIDEOB フォルダに保存されます。

②衝撃検知による録画 (衝撃録画)

本体内部の G センサーが衝撃を検知すると、ファイルの名前の頭の 3 文字が VID から SOS になり保護ファイルになります。

③手動録画

録画中、MODE ボタンを押すと、その時間のファイルの名前の頭の 3 文字が VID から SOS になり保護されます。

④録画停止

録画中に OK ボタンを押すと録画を停止します。再び OK ボタンを押すと録画を再開します。車両のエンジンを切ると自動的に常時録画が停止します。

電源オン時に OK ボタンを長押しすると電源がオフになり録画を停止します。再び OK ボタンを長押しすると電源が入って録画を再開します。

4) 駐車録画

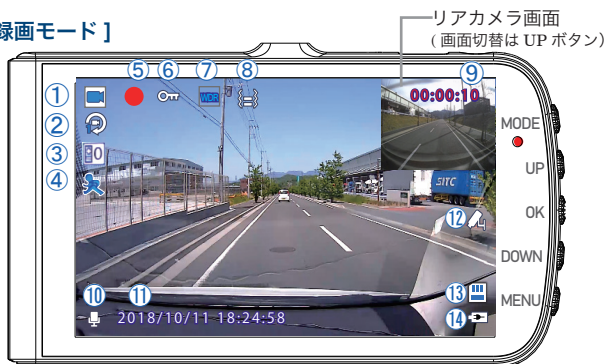
車両のエンジン停止時、約 2 時間録画を続けます。

それぞれ本体カメラは VIDEOA、リアカメラは VIDEOB フォルダに保存されます。

液晶画面の表示について [録画モード]

5) 液晶画面 ライブ映像画面：本体起動後、録画を開始します。

[録画モード]



リアカメラ画面
(画面切替はUPボタン)

- ① モード：[MODE] 録画モード
- ② 常時録画：[1分] / [3分] / [5分] (1ファイルあたり)
- ③ 明るさ補正：[2] 明るい / [1] やや明るい / [0] 標準 / [1] やや暗い / [2] 暗い
- ④ モーション検知：[ON] モーション検知オン時に表示
- ⑤ 録画表示：● 録画中、赤点減表示 / 録画停止時、非表示
- ⑥ 保護表示：[CMT] 録画中の衝撃・手動時に鍵(保護)表示
- ⑦ WDR：[ON] WDR オン時に表示
- ⑧ Gセンサー：オフ(非表示) / [鈍感] / [標準] / [敏感]
- ⑨ 録画時間表示：録画時は赤字でカウント(録画していない時は白字)
- ⑩ 音声録音：音声録音表示 ([ON] オン / [OFF] オフ)
- ⑪ 日時：日時表示(日時設定で修正可能)
- ⑫ 駐車モード：駐車モード設定時に [ON] 表示
- ⑬ microSDカード：[ON] 挿入表示 / [OFF] 未挿入表示
- ⑭ 電源：[ON] 電源接続表示 / [OFF] 電源未接続表示

[録画モード中] 録画モード中のボタン操作

	<p>MODE ボタン 手動録画(現在の録画ファイルを保護) 【録画停止時】モード切替[録画モード]→[静止画モード]→[再生モード] ※押すたびに切り替わります。</p> <p>UP ボタン 画面表示切り替え</p> <p>OK ボタン 録画停止/録画再開 <長押しで電源オン/オフ></p> <p>DOWN ボタン 音声録音オン/オフ <長押しで駐車録画オン/オフ></p> <p>MENU ボタン 【録画停止時】メニュー表示[録画モード設定]→[共通設定]→録画モード画面 ※押すたびに切り替わります。</p>
--	--

液晶画面の表示について [静止画モード]

- [静止画モード]** 録画中 OK ボタンを押すと録画を停止します。
録画停止後、MODE ボタンを 1 回押して静止画モードにします。



- ① モード [静止画モード]
- ② 静止画解像度 (1.3M/3M/8M/12M)
※静止画の各種設定画面はメニュー画面で設定できます。
- ③ 日時 (日時設定で修正可能)
- ④ microSD カード : 挿入表示 / 未挿入表示
- ⑤ 電源 : 電源接続表示、 電源未接続表示

[静止画モード中] 静止画モード中のボタン操作

静止画モードでは前後のカメラの映像を静止画として撮影できます。

静止画モード中、OK ボタンを押すと静止画を撮影し microSD カードへ保存します。

	MODE ボタン	モード切替 [静止画モード] → [再生モード] → [録画モード] ※押すたびに切り替わります。
	UP ボタン	画面表示切り替え (フロント⇄リア)
	OK ボタン	静止画撮影 < 長押しで電源オン / オフ > ※静止画は2カメラ同時に撮影できないので画面に表示された映像のみ静止画撮影できます。
	MENU ボタン	メニュー表示 [静止画モード設定] → [共通設定] → 静止画モード画面 ※押すたびに切り替わります。

●メニュー操作については 16 ~ 17 ページ参照

液晶画面の表示について [再生モード]

[再生モード] 録画中 OK ボタンを押すと録画を停止します。録画停止後、MODE ボタンを 2 回押して再生モード (▶ 動画・🖼️ 静止画) にします。



- ①モード [▶ 動画再生 (保護ファイルの場合は🔒表示) / 🖼️ 静止画表示]
- ②録画時間 (白字) / 再生時間 (赤字) ③ファイル名表示
- ④再生状態 [OK:▶] 停止または一時停止中 / [OK:⏸] 再生中
[⏪:⏪] 2 倍速 (X2) / 4 倍速 (X4) / 8 倍速 (X8) 早戻し
[⏩:⏩] 2 倍速 (X2) / 4 倍速 (X4) / 8 倍速 (X8) 早送り
- ⑤microSD カード : 🗂️ 挿入表示 / 🚫 未挿入表示
- ⑥電源 : 🔌 電源接続表示、🔌 電源未接続表示 ⑦撮影日時

再生モード中のボタン操作

UP/DOWN ボタンで再生したいファイルを選択して、OK ボタンで動画を再生します。

MODE	MODE ボタン	モード切替 [再生モード]→[録画モード]→[静止画モード] ※押すたびに切り替わります。
UP	UP ボタン	前のファイル表示 < 長押しでフロント/リア表示切替 > ※表示切替後は常に最新ファイル表示
OK	OK ボタン	動画再生/停止 < 長押しで電源オン/オフ >
DOWN	DOWN ボタン	次のファイル表示 < 長押しでフロントカメラ最新のファイル表示 > ※フロント/リアどちらの表示時もフロントカメラ最新ファイルを表示
MENU	MENU ボタン	メニュー表示 [再生モード設定]→[共通設定]→再生モード画面 ※押すたびに切り替わります。

※動画再生中、UP/DOWN ボタンは下記の操作になります。

UP ボタン : 早戻し再生

早戻しの速度は UP ボタン 1 回押すたびに、2 倍速 (X2) / 4 倍速 (X4) / 8 倍速 (X8)

DOWN ボタン : 早送り再生

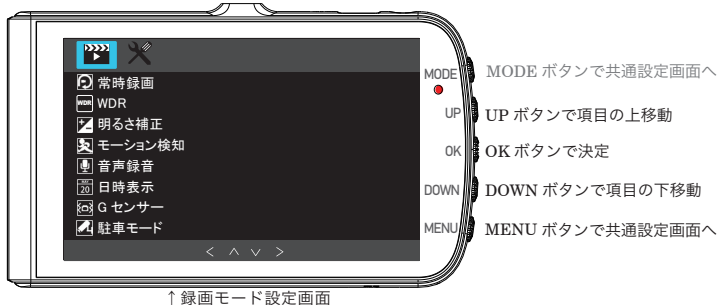
早送りの速度は DOWN ボタン 1 回押すたびに、2 倍速 (X2) / 4 倍速 (X4) / 8 倍速 (X8)

メニュー設定の操作方法

録画中、OK ボタンで録画を停止し、MENU ボタンでメニューを開きます。



MENU ボタンを押すたびに、 録画モード設定 → 共通設定 →元の画面 が表示されます。モードを切り替えて、静止画モード、再生モードの各設定も行えます。設定内容は次ページ参照



メニュー設定一覧 (録画モード、静止画モード、再生モード、共通設定)

[録画モード設定]

録画中、OK ボタンで録画を停止し、MENU ボタンで録画モード設定を開きます。MENU ボタンを 2 回押すと **共通設定** が表示されます。





[静止画モード設定]

録画停止後、MODE ボタンで静止画モードにしてから、MENU ボタンで静止画モード設定を表示します。MENU ボタンを 2 回押すと **共通設定** が表示されます。

[再生モード設定]

録画停止後、MODE ボタンで再生モードにしてから、MENU ボタンで再生モード設定を表示します。MENU ボタンを 2 回押すと **共通設定** が表示されます。

各メニューの設定項目は以下の通りです。

モード	メニュー	設定値	初期値
録画モード 	常時録画	1分 / 3分 / 5分	1分
	WDR	オフ / オン	オン
	明るさ補正	2(明るい)/1(やや明るい)/0(標準)/-1(やや暗い)/-2(暗い)	0
	モーション検知	オフ / オン	オフ
	音声録音	オフ / オン	オン
	日時表示	オフ / オン※動画データに日付が表示されます。	オン
	G センサー	オフ / 鈍感 / 標準 / 敏感	標準
	駐車モード	オフ / オン	オフ
静止画モード 	解像度	1.3M/3M/8M/12M	1.3M
	日時表示	オフ / オン※静止画データに日付が表示されます。	オン
再生モード 	消去	現在のファイル / すべてのファイル	-
	保護	現在のファイルを保護 / 現在のファイルの保護を解除 / すべてのファイルを保護 / すべてのファイルの保護解除	-
共通設定 	画面消灯設定	オフ / 30 秒 / 1 分 / 2 分	オフ
	周波数	50hz/60hz	50Hz
	操作音	オフ / オン	オン
	日時設定	-	-
	フォーマット	キャンセル / OK	-
	初期化	キャンセル / OK	-
	バージョン	バージョン情報を表示	-

※明るさ補正を設定変更した場合、画面が暗くなったり画面がつかなくなる場合がありますのでご注意ください。

※モーション検知をオン設定にした場合は、本体の電源をオフにし再起動してください。

フォーマット / 初期化

録画中、OK ボタンで録画を停止し、MENU ボタンを 2 回押して共通設定メニューを表示します。



共通設定メニューを表示し、UP/DOWN ボタンで設定する項目を選択し、OK ボタンを押す。[フォーマット]、[初期化]については下記をご参照ください。

フォーマット

micro SD カードをフォーマットします。



注意

フォーマットすると microSD カードの記録ファイルは、全て消去されます。あらかじめパソコンなどにバックアップすることをおすすめします。

- ※ 安定してご使用いただくため、1～2週間に一度、ドライブレコーダー本体でフォーマットしてください。
- ※ microSD カードは消耗品ですので、定期的に新しい microSD カードへの交換をお勧めします。
長期間のご使用は不良セクタ多発などにより適切な記録が行われなくなる場合があります。
- ※ microSD カードの消耗に起因する故障、または損傷については弊社では一切の責任を負いかねます。

【注意】

microSD カードの容量がいっぱいになった場合は液晶画面に「SD カードの容量がいっぱいになりました。フォーマットしてください。」と表示され、**フォーマットしないと録画出来ません。** microSD カードの必要なデータを保存後、本体でフォーマットしてください。



保護されているファイル（衝撃、手動録画ファイル）や静止画ファイルは上書きされません。イベント録画で容量がすぐにいっぱいになってしまう場合は、メニュー設定（録画モード設定）の「G センサー」で感度を調整してください。

初期化

メニュー設定を工場出荷状態の初期値に戻します。

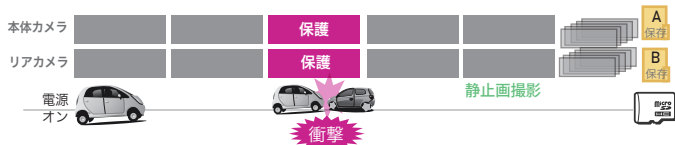
録画の種類

電源オンで常時録画＋衝撃録画がスタートします。

常時録画

電源オンからオフまで常に録画を続けます。容量がいっぱいになったら古いVID(常時録画)ファイルのみ上書きされます。

録画ファイル ※録画の1ファイルの時間は約1分、3分、5分から選択可能



衝撃(手動)録画

衝撃時(Gセンサーが衝撃を検知したとき)や手動録画ボタンを押したときは、名前の頭文字3文字をSOSに変えて保護ファイルになります。

設定でモーション検知をオンにした場合 (17ページ参照)

※常時録画停止時、メニューでモーション検知のオン設定後、モーション検知録画ができます。
おもに駐車時や停車中などの使用をお勧めします。

電源オン時にOKボタンで録画を停止し、MENUボタンでメニューを開き、モーション検知をオンにします。録画モードに戻り、常時録画停止時のみモーション検知は機能します。再びOKボタンを押すと常時録画を再開します。

静止画撮影

静止画モードにして撮影すると静止画ファイルを保存します。

※各ファイルの名前のルールや保存先ファイルなどについては次ページ参照

電源オフで常時録画＋衝撃録画を終了します。

駐車モード

※駐車モード設定オンの場合、そのまま約2時間録画を継続します。
※液晶を消したい場合は画面消灯設定を行ってください。

車両のエンジン停止後、1ファイル約1分で常時録画を約2時間継続します。また、衝撃を検知した場合、保護ファイルとして録画されます。

電源オン時、OKボタンで録画停止してある場合は常時録画できません。

常時録画停止時、モーション録画オン設定になっている場合はモーション検知時と衝撃検知時のみ録画されます。

※バッテリーの状況が万全でない状態では、駐車録画ができないことがあります。駐車録画による車両のバッテリー上がりに関して弊社は、一切の責任を負いません。また保証なども一切ありません。車両側のバッテリーチェックは定期的に行ってください。

・毎日運転しない方 / ・1日の走行が1時間以下の方 / ・車両バッテリーを1年以上使用している方は、バッテリーが上がりやすいため、駐車録画(駐車モード)の使用を控えて頂くことをお勧めします。

【注意事項】

- ・録画中はmicroSDカードを取り外さないでください。
- ・microSDカードの容量がいっぱいになると、常時録画データの古いファイルから新しいファイルが上書きされ録画を続けます。保護されているファイル(衝撃、手動録画ファイル)や静止画ファイルは上書きされません。保護されているファイルでいっぱいになるとフォーマットしないと録画できなくなります。定期的に必要なファイルは保存してフォーマットしてください。

microSD カード内ファイル構成

microSD カードには、下記のようなファイル構成で映像ファイルが保存されます。

フォルダ構造

VIDEO

VIDEOA

※VIDEOA フォルダには本体カメラ映像が保存されます。

VIDEOB

※VIDEOB フォルダにはリアカメラ映像が保存されます。

VID → 常時録画

SOS → 衝撃または手動録画、またはメニューで保護したファイル

IMG → 静止画

ファイル名

VID_20181025_171924.MOV

●本体での常時録画ファイル

SOS_20181025_172224.MOV

●本体での衝撃(手動)録画ファイルまたは、保護ファイル

IMG_20181025_172324.JPG

●本体での静止画ファイル

VID_20181025_171924.MOV

●リアカメラでの常時録画ファイル

SOS_20181025_172224.MOV

●リアカメラでの衝撃(手動)録画ファイルまたは、保護ファイル

IMG_20181025_172424.JPG

●リアカメラでの静止画ファイル

(例1) VID_20181025_171924.MOV (VIDEOA フォルダに保存)

2018年10月25日17時19分24秒に本体カメラで常時録画したファイル

(例2) SOS_20181025_172224.MOV (VIDEOA フォルダに保存)

2018年10月25日17時22分24秒に本体カメラで衝撃(手動)録画または保護したファイル

(例3) IMG_20181025_172324.JPG (VIDEOA フォルダに保存)

2018年10月25日17時23分24秒に本体カメラで撮影した静止画ファイル

(例1) VID_20181025_171924.MOV (VIDEOB フォルダに保存)

2018年10月25日17時19分24秒にリアカメラで常時録画したファイル

(例2) SOS_20181025_172224.MOV (VIDEOB フォルダに保存)

2018年10月25日17時22分24秒にリアカメラで衝撃(手動)録画または保護したファイル

(例3) IMG_20181025_172424.JPG (VIDEOB フォルダに保存)

2018年10月25日17時24分24秒にリアカメラで撮影した静止画ファイル

録画時間の目安 駐車モードを変更すると自動的に割り当てが変更されます。

microSD カードの録画時間の目安です。(16GB 付属)

常時録画でいっぱいになったら衝撃録画発生すると上書きして録画します。但し、衝撃による録画はロックされるので上書きできず、衝撃録画でいっぱいになるとフォーマットしないと録画できなくなります。

※撮影の状況などによって変動する場合があります。

1 カメラ時

microSD	8GB	16GB	32GB	64GB
録画時間	約 45 分	約 90 分	約 180 分	約 360 分

2 カメラ時

microSD	8GB	16GB	32GB	64GB
録画時間	約 30 分	約 60 分	約 120 分	約 240 分

製品仕様

機能・仕様 【型式：DVR-DD-2】

●録画保存種類	常時録画、イベント録画(衝撃/手動)	
●記録データ	映像、音声	●映像再生 本体液晶
●映像ファイル形式	MOV	●静止画ファイル形式 JPG
●録画解像度 /フレームレート	前方カメラ：200万画素/1920×1080/30fps 変調 リアカメラ：100万画素/1280×720/30fps 変調	
●LED信号対応	50Hz/60Hz LED信号対応	●駐車監視モード ON/OFF可
●モーション検知	あり(ON/OFF可)	●Gセンサー 3段階(ON/OFF可)
●バッテリー保護	あり(電圧約12V以下/24V以下)	
●WDR	ON/OFF可	●ナイトビジョン あり(OFFなし)
●記録媒体	microSDカード(8～64GB/class 10以上)	
●SDカード管理	定期的フォーマット	●GPSなし
●外形寸法	本体：約115(W)×64(H)×30(D)mm(ブラケット除く※ブラケット装着時約118mm(H)) リアカメラ：約58(W)×48(H)×24(D)mm	
●重量	本体：約157g(ブラケット除く)/リアカメラ：約24g	
●液晶サイズ	4.0インチIPS(解像度854×480)	
●カメラ	前方カメラ：200万画素C-MOSセンサー(GC2363 F値1.6) リアカメラ：100万画素C-MOSセンサー(H65 F値2.5)	
●画角	前方カメラ：水平約139°/垂直約92°/対角約169° リアカメラ：水平約124°/垂直約93°/対角約155°	
●スピーカー出力	ON/OFF可	●音声録音 ON/OFF可
●電源電圧	DC5V(入力電圧12V/24V)	
●動作温度	本体：-10～65℃	●保存温度 本体：-20～70℃
●付属品	ブラケット、デジタルHDリアカメラ、10mリアカメラ接続ケーブル 5m配線電源ケーブル(ACC、B+、GND、電圧監視機能付) microSDカード(16GB)、取扱説明書、保証書	

MEMO




株式会社ワーテックス

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162番地13

URL <http://www.watex-net.com/>

お客様サポートセンター係

 **0120-25-3930**

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30

(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)